

Kofax VRS

インストール ガイド

バージョン: 5.2.0

日付: 2020-02-12

KOFAX

© 2001–2020 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

目次

はじめに.....	4
製品ファイルの場所.....	4
関連ドキュメント.....	4
Kofax 製品のヘルプの入手.....	4
Kofax VRS Elite のインストール.....	6
システム要件.....	6
Microsoft Visual C++ Redistributable.....	6
Microsoft .NET Framework 4.7.....	7
ハードウェア.....	7
動作保証された Kofax VRS スキャナ.....	8
Component Installer.....	8
インストール手順.....	8
アップグレード.....	9
Kofax Capture インストールについて.....	9
スタンドアロン インストール.....	9
クライアント/サーバー インストール.....	10
サイレント インストール.....	13
マルチコアおよび EBC 処理機能にアクセスする.....	14
Kofax VRS を登録する.....	15
Kofax VRS Elite にアップグレードする.....	15
管理者アクセス.....	17
Kofax VRS を削除する.....	18

はじめに

このガイドには、Kofax VRS Elite のインストールまたはアップグレード、および製品のアクティベーションに必要な情報が記載されています。この手順は、Kofax VRS 4.x または 5.x の OEM バージョンのアップグレードにも使用できます。製品の機能およびユーザー インターフェイスの詳細については、Kofax VRS のヘルプを参照してください。

製品ファイルの場所

Kofax VRS Fulfillment サイトから Kofax をダウンロードする場合は、サイトの指示に従って、ISO ファイルからローカル ドライブに製品ファイルを取り込みます。リムーバブル電子メディアの形態で、製品ファイルが含まれるパッケージとして Kofax VRS を入手した場合は、そのメディアを使用してインストールを行います。このガイドでは、「製品ファイル」という用語はダウンロード ファイルまたは電子メディアを意味します。

関連ドキュメント

Kofax VRS のドキュメント セットには、このガイドの他に次のドキュメントが含まれています。

- *Kofax VRS のヘルプ*: Kofax VRS Administration Console および Kofax VRS Interactive Viewer のオンライン製品支援機能です。
- *Kofax VRS Test Console のヘルプ*: Kofax VRS のインストールに含まれているサンプル スキャン アプリケーションである Kofax VRS Test Console のオンライン製品支援機能です。
- *Kofax VRS リリース ノート*: Kofax VRS の他のドキュメントでは提供されない最新情報です。リリース ノートは、Kofax (www.kofax.com) のサポート ページで参照してください。

Kofax 製品のヘルプの入手

[Kofax ナレッジ ベース](#) リポジトリには、Kofax 製品についての情報を維持するために定期的に更新される記事が格納されています。製品について不明な点がある場合は、ナレッジ ベースを使用して回答を取得することをお勧めします。

Kofax ナレッジ ベースにアクセスするには、[Kofax Web サイト](#)にアクセスし、ホーム ページ上で サポート を選択します。

注 Kofax ナレッジ ベースは、Google Chrome、Mozilla Firefox、または Microsoft Edge で使用するように最適化されています。

Kofax ナレッジ ベースは、以下を提供します。

- 必要な情報をすばやく見つけるのに役立つパワフルな検索機能

Search ボックスに検索用語またはフレーズを入力し、検索アイコンをクリックします。

- 製品情報、設定の詳細、およびドキュメント (リリース ニュースを含む)

Kofax ナレッジ ベースのホーム ページをスクロールして、製品ファミリーを特定します。次に、製品ファミリーの名前をクリックして、関連する記事のリストを表示します。一部の製品ファミリーでは、関連記事を表示する際に、有効な Kofax ポータルへのログインが必要になることにご注意ください。

- Kofax Customer Portal へのアクセス (利用可能なユーザー向け)。

ページの上部にある **Customer Support** リンクをクリックして、**Log in to the Customer Portal** をクリックします。

- Kofax Partner Portal へのアクセス (利用可能なパートナー向け)。

ページの上部にある **Partner Support** リンクをクリックして、**Log in to the Partner Portal** をクリックします。

- Kofax サポートの責務、ライフサイクル ポリシー、電子的フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。

General Support セクションにスクロールして、**Support Details** をクリックし、該当するタブを選択します。

Kofax VRS Elite のインストール

Kofax VRS Elite は、広範なドキュメント タイプで可能な限り最良の画質を実現する画像強化ツールです。Kofax VRS をスキャン アプリケーションと連携させて使用すると、スキャンされたすべての画像を品質要求に合わせることができます。Kofax VRS は低画質の画像を検出すると、即時に自動画像処理を実行します。また、Kofax VRS のインタラクティブに調整できるコントロールのセットを使用することで試行作業が不要となり、簡単かつリアルタイムに画像を修正できます。

このガイドには、スタンドアロンまたはクライアント/サーバー環境での Kofax VRS のインストールまたはアップグレード、および製品ライセンスのアクティベーションに役立つ重要な情報が記載されています。

すべての Kofax VRS インストールには、Kofax VRS Test Console および Kofax VRS Test Application が含まれています (または VCDemo)。これらのサンプル スキャン アプリケーションを使用して、Kofax VRS のメリットのテストまたはデモンストレーションを実行します。

システム要件

ここに記載された要件だけでなく、サポートされているオペレーティング システムやその他のシステム要件に関する情報は、Kofax Web サイトの[Kofax ナレッジ ベース](#)から入手可能な *Kofax VRS 5.2.0 Technical Specifications* を参照してください。このドキュメントは定期的に更新されているため、製品をインストールする前に詳細に確認することをお勧めします。

注 Kofax VRS 製品のインストール中に必要となる再起動回数を最小限にとどめるために、以下に示す手順に従って Microsoft Visual C++ Redistributable および Microsoft .NET Framework 4.7 を事前にインストールしておくことをお勧めします。

Microsoft Visual C++ Redistributable

スタンドアロンまたはサーバー インストール中に、Kofax VRS インストーラは Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86) - 12.0.30501 および Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.22.27821 がすでにインストールされているかどうかを確認します。インストールされていない場合は、環境内に Visual C++ Redistributable が自動的にインストールされます。

Kofax VRS クライアント ワークステーションのインストール時は、Visual C++ Redistributable が自動的にインストールされることはありません。クライアント ワークステーションに Kofax VRS をインストールする前に、Visual C++ Redistributable が事前にインストールされていることを確認してください。必要なファイルは以下の Kofax VRS 製品ファイルに付属しています。

```
Media\ISSetupPrerequisites\{09F56021-05C8-46A2-BCD8-DBF87ED5C928}\vc_redist_x86.exe
```

```
Media\ISSetupPrerequisites\{5bfc1380-fd35-4b85-9715-7351535d077e}\vc_redist.x86.exe
```

Microsoft .NET Framework 4.7

Kofax VRS5.2.0 には Microsoft .NET Framework 4.7 以降が必須です。

スタンドアロンまたはサーバー インストール時に、Kofax VRS インストーラは .NET Framework 4.7 以降がインストールされているかどうかをチェックします。インストールされていない場合は、.NET Framework 4.7 が自動的にインストールされます。

Kofax VRS クライアント ワークステーションのインストール時は、.NET Framework 4.7 は自動的にインストールされません。クライアント ワークステーションに Kofax VRS をインストールする前に、.NET Framework 4.7 以降が事前インストールされていることを確認してください。インストールされていない場合、.NET Framework 4.7 は以下の Kofax VRS 製品ファイルから利用できます。

Media\ISSetupPrerequisites\{C1015097-96FE-4C5E-BD95-37910B3B16FF}\NDP47-KB3186497-x86-x64-AllOS-ENU.exe

その他の前提条件

現在、Windows 7、Windows Server 2008 R2、または Windows Server 2012 を実行している場合は、.NET Framework 4.7 のインストールを続行する前に、Windows 修正プログラムをインストールする必要があります。

スタンドアロンまたはサーバー インストール時に、Kofax VRS インストーラは修正プログラムがインストールされているかどうかをチェックします。インストールされていない場合は、修正プログラムが自動的にインストールされます。

Kofax VRS クライアント ワークステーションのインストール時は、修正プログラムが自動的にインストールされません。製品ファイルに付属している修正プログラムを事前にインストールする必要があります。次の表を使用して、オペレーティング システムに必要な修正プログラムの検索場所を確認してください。

オペレーティング システム	Kofax VRS 製品ファイル - 修正プログラムの場所
Windows 7 x86 Windows Server 2008 R2 x86	Media\ISSetupPrerequisites\{E03F1F8E-5020-49D4-BB38-D7E4C6FDF860}
Windows 7 x64 Windows Server 2008 R2 x64	Media\ISSetupPrerequisites\{E03F1F8E-5020-49D4-BB38-D7E4C6FDF861}
Windows 2012	Media\ISSetupPrerequisites\{E03F1F8E-5020-49D4-BB38-D7E4C6FDF862}

ハードウェア

- 1 GHz 以上: 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) AMD/Intel プロセッサ
- 2 GB 以上の RAM
- 20 GB の空きディスク容量

動作保証された Kofax VRS スキャナ

Kofax VRS でスキャナの動作保証をする際には、厳正なテストを行ったうえで最適なデフォルト設定を特定および選択しています。したがって、Kofax VRS は、動作保証スキャナとのみ使用することをお勧めします。

Kofax VRS は、動作保証のない TWAIN または ISIS ドライバで作成した「互換性のある」スキャンソースを使用するスキャナと連携することも可能です。互換性のあるスキャンソースと連携しているときでも、最適な画質にならないことがあります。製品ライセンスの購入前に、互換性のあるスキャンソースを使用した予備テストに使用する Kofax VRS をダウンロードできます。

非動作保証スキャンソースが Kofax VRS との互換性を保つには、次の要件を満たす必要があります。

- 単一画像として 8 ビット グレースケール画像または 24 ビット カラーを出力する機能
- TWAIN ドライバまたは ISIS ドライバのサポート

Kofax Web サイト (www.kofax.com) にある Scanner Configurator を使用して Kofax VRS を業界標準スキャナと併用する際の情報を確認できます。Scanner Configurator には、サポートされているライセンス、推奨設定、テクニカル ノートについての詳細も含まれています。

Component Installer

スタンドアロンまたはクライアント ソフトウェアとして Kofax VRS のインストール処理を行っているとき、動作保証スキャナのリストからスキャナ名を選択するように求められます。Kofax VRS インストーラーは、動作保証スキャナの名前を基に適切なデフォルトのスキャン プロファイルを選択します。Kofax VRS の動作保証スキャナのリストは断続的に更新されるため、一部のスキャナは動作保証のタイミングが合わず、インストール処理時に表示されるリストに載っていない場合があります。このようなリストに載っていない動作保証スキャナのドライバは、Kofax VRS Component Installer として入手できます。これは、Kofax の Web サイト (www.kofax.com) のサポート ページからダウンロードできます。

Kofax VRS Component Installer が必要な場合は、このガイドの指示 (「[インストール手順](#)」を参照) に従って、Kofax VRS のインストール処理を完了します。スキャナを選択するように求められたら、次へをクリックして、スキャナの選択を省略します。インストールが完了したら、Kofax の Web サイトの Web ページ Kofax VRS を確認して、スキャナで必要となるドライバの Kofax VRS Component Installer をダウンロードして実行します。また、メーカーの説明書に従って、スキャナの設置および接続を行う必要があります。Kofax VRS Component Installers は、Kofax VRS との使用に関して動作保証されたスキャナでのみ使用できます。非動作保証スキャナは、[動作保証された Kofax VRS スキャナ](#) で概説されている要件を満たしている場合に、Kofax VRS との使用が可能になります。

インストール手順

新規インストールを行うには、Kofax Fulfillment サイトからローカル ドライブに Kofax VRS Elite 5.2.0 をダウンロードするか、購入時に提供されたリムーバブル インストール メディアを使用します ([製品ファイルの場所](#)を参照)。VRS は、スタンドアロンまたはクライアント/サーバー環境にインストールできます。

注 Kofax VRS Elite は、User Account Control (UAC) が有効で「中」(デフォルト) に設定されている場合に、正常にインストールされるように設計されています。UAC を有効にしてもインストールが失敗する場合は、UAC をオフにし、マシンを再起動して Kofax VRS を再度インストールを実行できます。Kofax VRS の正常なインストール後、UAC を再度オンにできます。

アップグレード

Kofax VRS のインプレース アップグレードを実行するには、このガイドの手順に従って[スタンドアロン](#)または[クライアント/サーバー インストール](#)を実行してください。インストールを開始すると、最初のインストーラ スクリーンに既存の Kofax VRS インスタンスが検出されて表示されます。「InstallShield ウィザードによって、マシン上の Kofax VRS がアップグレードされます。」これ以降は、インストーラにアップグレード手順が表示されます。

既存の 5.x または 4.x バージョンを事前に削除せずに Kofax VRS Elite 5.2.0 をアップグレードすることが可能です。ただし、現在、Windows 7 より前のオペレーティング システムに Kofax VRS 4.x がインストールされている場合は、インプレース アップグレードがサポートされません。

Kofax Capture インストールについて

Kofax VRS は、すべての Kofax Capture インストールの一部として「サイレント」インストールされます。したがって、Kofax Capture のインストールが既に存在する場合は、個別に Kofax VRS をインストールする必要はありません。Kofax Capture と一緒にサイレント インストールされた場合、Kofax VRS は、[プログラムと機能] ユーティリティの「現在インストールされているプログラム」リストに表示されません。

Kofax Capture インストール環境に以前のバージョンの VRS が含まれている場合は、VRS 5.2.0 インストーラを実行してアップグレードできます。このインストーラにより、古いバージョンが自動的に検出され、置換されます。場合によっては、置換を確認するように求められることがあります。

スタンドアロン インストール

同じマシンで Kofax VRS の管理、スキャン、イメージ処理のタスクをすべて行う場合は、スタンドアロン設定が適しています。

インストール中にライセンスのアクティベーションを行うには、購入時に発行された Kofax VRS の部品番号、シリアル番号、および製品コードが必要になります。インストール処理時にライセンスのアクティベーションが成功しなかった場合も、Kofax VRS は猶予期間中、一時的に実行することができます。この猶予期間が終了すると、スキャンされたすべての画像にデジタル スタンプが適用されるようになります。ライセンスのアクティベーションが成功すると、画像のスタンプは押されなくなります。

注 インストーラがマシンの再起動を要求するプロンプトを表示するのを回避するために、更新を開始する前にすべての File Explorer インスタンスを閉じておくことを推奨します。Kofax VRS のスタンドアロン インストールが既に存在している場合は、Kofax VRS 5.2.0 のインストール時に自動的に検出されます。

1. メーカーの説明書どおりにスキャナが設置され、マシンに接続されていることを確認します。

2. マシン上のアプリケーションをすべて終了します。また、管理者権限のあるユーザーとしてログインしていることを確認します。
ドメイン管理者アカウントによっては、ローカル マシンで特定のフォルダやレジストリ エントリにアクセスすることができない場合があります。管理者アカウントに、ローカル管理者アカウントと同じレベルのフォルダおよびレジストリ アクセス権限が付与されていることを確認してください。
3. 次のいずれかから、**setup.exe** を実行して、インストーラを起動します。
 - Kofax VRS 製品ファイルが含まれているフォルダ
 - リムーバブル電子メディア
4. [ようこそ] 画面の **次へ** をクリックして設定を進めます。
5. [使用許諾契約] 画面で、[End User License Agreement (エンド ユーザー使用許諾契約)] の条項を確認します。
 - 使用許諾契約の別のセクションの表示エリアに移動するにはスクロール バーを使用します。
 - 使用許諾契約の全文のコピーを印刷するには印刷 ボタンを使用します。
6. 次のいずれかを行います。
 - 使用許諾契約の条項に同意します を選択し、**次へ** をクリックしてインストールを続行します。
 - 使用許諾契約の条項に同意しません を選択し、**次へ** をクリックしてインストールを終了します。
7. インストール先のフォルダ 画面で、以下のいずれかを実行して Kofax VRS をインストールする場所を選択します。
 - **次へ** をクリックし、画面でリストされているデフォルトのインストール フォルダを使用します。
 - **変更** をクリックし、別のインストール パスを選択し、**次へ** をクリックします。
8. [セットアップ タイプ] 画面で、[スタンドアロン] を選択して **次へ** をクリックします。
9. プログラムをインストールする準備ができました 画面で、以下のいずれかを実行します。
 - **インストール** をクリックして、インストールを開始します。
 - **戻る** をクリックし、インストールを実行する前に設定を確認および更新します。

インストールを開始すると、インストールの進行中にステータス メッセージが表示されます。インストールが完了すると、マシンの再起動を要求される場合があります。
10. [Kofax VRS Administration Console] の [ライセンス] パネルが表示された際に、[ヘルプ] をクリックし、オンライン手順どおりにライセンスのアクティベーションを実行し、**次へ** をクリックします。
[Kofax VRS Administration Console] の [スキャナ設定] パネルが表示されます。
11. [スキャナ設定] リストでスキャナの名前を選択し、**次へ** をクリックします。
12. インストールが正常に完了したというメッセージが表示されたら、[完了] をクリックしてインストーラを終了します。

クライアント/サーバー インストール

いくつかの場所に分散している可能性がある複数のワークステーションでスキャンおよびイメージ処理を行う場合は、クライアント/サーバー設定が適しています。この環境では通常、サーバー マシンの Kofax VRS Administration Console を使用して、ライセンスおよびスキャン プロファイルの管理に関連する集中タスクを行います。そして、クライアント ワークステーションを使用して、スキャンおよびイメージ処理を行います。Kofax VRS クライアント ソフトウェアのインストールに必要な Kofax VRS.msi ファイルを作成するには、Kofax VRS サーバーのインストールを完了する必要があります。

サーバー インストール中にライセンスのアクティベーションを行うには、購入時に発行された Kofax VRS のシリアル番号および製品コードが必要になります。ライセンスのアクティベーションが成功して

いない状態でサーバー インストールを終了した場合は、クライアント ワークステーションでスキャンされた画像にデジタル スタンプが適用されます。画像へのスタンプの適用は、クライアントがライセンスをライセンス サーバから正常に取得すると、終了します。

ポート要件

Kofax VRS クライアント/サーバーインストールの場合、ライセンスおよび共有ファイルに関連する通信のためにポート 3581 を開いておく必要があります。この要件を満たすには、ファイアウォールまたはセキュリティの設定の調整が必要になる場合もあります。

Kofax VRS サーバーをインストールする

1. Kofax VRS サーバーをインストールするマシン上のアプリケーションをすべて終了します。また、管理者権限のあるユーザーとしてログインしていることを確認します。
2. 次のいずれかから、**setup.exe** を実行して、インストーラを起動します。
 - Kofax VRS 製品ファイルが含まれているフォルダ
 - リムーバブル電子メディア
3. [ようこそ] 画面の **次へ** をクリックして設定を進めます。
4. 使用許諾契約 画面で、**[End User License Agreement (エンド ユーザー使用許諾契約)]** の条項を確認します。
 - 使用許諾契約の別のセクションの表示エリアに移動するにはスクロール バーを使用します。
 - 使用許諾契約の全文のコピーを印刷するには**[印刷]** ボタンを使用します。
5. 次のいずれかを行います。
 - 使用許諾契約の条項に同意します を選択し、**次へ** をクリックしてインストールを続行します。
 - 使用許諾契約の条項に同意しません を選択し、**次へ** をクリックしてインストールを終了します。
6. **[インストール先のフォルダ]** 画面で、以下のいずれかを実行して Kofax VRS をインストールする場所を選択します。
 - **次へ** をクリックし、画面でリストされているデフォルトのインストール フォルダを使用します。
 - **変更** をクリックし、別のインストール パスを選択し、**次へ** をクリックします。
7. **[セットアップ タイプ]** 画面で、**[サーバー]** を選択して **次へ** をクリックします。
8. **[ユーザー情報]** 画面で、
 - a. Kofax VRS をインストールするサーバーの名前を入力します。短い NetBIOS 名または完全修飾名 (ドメイン名を付けたマシン名) を使用します。
 - b. Kofax VRS がライセンスおよび共有ファイルに関連する通信を行う際に必要な、ポート **[3581]** を入力します。
 - c. **次へ** をクリックします。
9. プログラムをインストールする準備ができました 画面で、以下のいずれかを実行します。
 - **インストール** をクリックして、インストールを開始します。
 - **戻る** をクリックし、インストールを実行する前に設定を確認および更新します。

インストールを開始すると、インストールの進行中にステータス メッセージが表示されます。インストールが完了すると、マシンの再起動を要求される場合があります。

[Activate (アクティベーション)] ウィンドウが表示されます。
10. **[Activate (アクティベーション)]** ウィンドウで **[Software (ソフトウェア)]** を選択し、購入時に発行されたシリアル番号および製品コードを入力します。

11. **[Automatic (自動)]** をクリックして、ライセンスのアクティベーションを行います。

注 ライセンス サーバーに接続してアクティベーションを行うことができない場合は、Kofax の営業部までご連絡ください。営業担当者より、アクティベーション コードが含まれた電子メール メッセージをお送りします。アクティベーション ウィンドウの **[Manual (手動)]** をクリックし、送信されたコードをテキスト ボックスに貼り付けて、**[Activate (アクティベーション)]** をクリック します。

12. インストールが完了したというメッセージが表示されたら、完了 をクリックしてインストーラを終了します。
13. サーバー インストールで自動的に Deployment フォルダが作成されたことを確認します。Deployment フォルダは、Program Files (x86)\Kofax\Imgctls のサブフォルダです。Deployment フォルダには、Kofax VRS.msi ファイルがあります。このファイルには、Kofax VRS クライアント ソフトウェアのインストールに必要な事前設定された情報が含まれています。クライアント ワークステーションは、Kofax VRS.msi ファイルを使用して、サーバー マシン上の中央ライセンスおよびスキャン プロファイル リポジトリにアクセスします。

Kofax VRS をクライアント ワークステーションにインストールする

Kofax VRS サーバーをインストールしたら、このセクションの手順に従って、Kofax VRS をクライアント ワークステーションにインストールして、導入します。別のオプションとしては、System Center Configuration Manager (SCCM) や Systems Management Server (SMS) などの管理ソフトウェアを使用して、Kofax VRS.msi および VRSAccess.xml をクライアント ワークステーションに配布する方法もあります。VRSAccess.xml の詳細については、[管理者アクセス](#)を参照してください。

1. メーカーの説明書どおりにスキャナが設置され、クライアント ワークステーションに接続されていることを確認します。
2. 必須の Visual C++ Redistributable と .NET Framework 4.7 以降がクライアント ワークステーションに事前にインストールされていることを確認します。インストールされていない場合、Kofax VRS の製品ファイルから利用できます。詳細については、[Microsoft Visual C++ Redistributable](#)および[Microsoft .NET Framework 4.7](#)を参照してください。
3. ワークステーション上のアプリケーションをすべて終了します。また、管理者権限のあるユーザーとしてログインしていることを確認します。
ドメイン管理者アカウントによっては、ローカル マシンで特定のフォルダやレジストリ エントリにアクセスすることができない場合があります。管理者アカウントに、ローカル管理者アカウントと同じレベルのフォルダおよびレジストリ アクセス権限が付与されていることを確認してください。
4. ワークステーションで、サーバー インストール時に作成された **[Kofax VRS.msi]** ファイルを実行します。
5. **[ようこそ]** 画面の **次へ** をクリックして設定を進めます。
6. **[End User License Agreement (エンド ユーザー使用許諾契約)]** を確認します。
 - ・ 許諾契約の別のセクションの表示エリアに移動するにはスクロール バーを使用します。
 - ・ 使用許諾契約の全文のコピーを印刷するには**[印刷]** ボタンを使用します。
7. 次のいずれかを行います。
 - ・ 使用許諾契約の条項に同意します を選択し、**次へ** をクリックしてインストールを続行します。
 - ・ 使用許諾契約の条項に同意しません を選択し、**次へ** をクリックしてインストールを終了します。
8. **[インストール先のフォルダ]** 画面で、Kofax VRS をインストールする場所を選択します。
 - ・ **次へ** をクリックし、画面でリストされているデフォルトのインストール フォルダを使用します。
 - ・ **変更** をクリックし、別のインストール パスを選択し、**次へ** をクリックします。

9. [ユーザー情報] 画面で、サーバーのインストール時に指定されたサーバー名とポート番号を確認します。サーバーのインストール後に情報が変更されていた場合は、ここで更新します。
 - a. サーバー名を更新する場合は、短い NetBIOS 名または完全修飾名 (ドメイン名を付けたマシン名) を使用します。
 - b. ポート [3581] は、Kofax VRS がライセンスおよび共有ファイルに関連する通信を行う際に必要です。
 - c. 次へ をクリックします。
10. プログラムをインストールする準備ができました 画面で、以下のいずれかを実行します。
 - インストール をクリックして、インストールを開始します。
 - 戻る をクリックし、インストールを実行する前に設定を確認および更新します。

インストールを開始すると、インストールの進行中にステータス メッセージが表示されます。インストールが完了すると、マシンの再起動を要求される場合があります。

[スキャナ設定] ウィンドウが表示されます。
11. リストでスキャナの名前を選択し、次へ をクリックします。
12. インストールが完了したというメッセージが表示されたら、完了 をクリックしてインストーラを終了します。

SNMP 拡張エージェント

Kofax VRS クライアント/サーバー インストールでは、Kofax VRS SNMP 拡張エージェントと Kofax Monitor または業界標準管理コンソールを統合して、複数のクライアント スキャン ステーションからスキャナのヘルス データを収集することができます。Kofax VRS SNMP 拡張エージェントの導入に関する詳細については、Kofax の Web サイト (www.kofax.com) を参照してください。

サイレント インストール

Kofax VRS の標準インストール プロセスの代わりに、管理者権限のある [コマンド プロンプト] ウィンドウからサイレント インストールを実行して、同じ結果を得ることができます。サイレント インストール中は、手動による入力が必要ありません。

1. setup.exe または Kofax VRS.msi をスタンドアロン コンピュータ、サーバー コンピュータ、またはクライアント コンピュータにコピーします。
 - Kofax VRS の既存のインスタンスの場合は、インストール フォルダ (通常はデフォルト パスを使用) にファイルをコピーします。
64 ビット: C:\Program Files (x86)\Kofax\ImgCtls
32 ビット: C:\Program Files\Kofax\ImgCtls
 - Kofax VRS の新規インストールの場合は、ファイルをコンピュータ上の任意のフォルダにコピーします。デフォルト パスは、インストール プロセス中に自動的に作成されます。
2. クライアント ワークステーションのみ: 必須の Visual C++ Redistributables および .NET Framework 4.7 以降が事前にインストールされていることを確認します。インストールされていない場合、Kofax VRS の製品ファイルから利用できます。詳細については、[Microsoft Visual C++ Redistributable](#) および [Microsoft .NET Framework 4.7](#) を参照してください。

3. デフォルト パスを使用して Kofax VRS をインストールするには、各場合に応じて管理者権限のある [コマンド プロンプト] から以下のコマンドを実行します。
 - スタンドアロン: `Setup.exe /s /v" /qn"`
 - サーバー: `Setup.exe /s /v"INSTALL_TYPE=\"Server\" /qn"`
 - クライアント: `Msiexec.exe /i "<PATH_TO_VRS_MSI>\Kofax VRS.msi" /qn`
4. カスタム パスを使用して Kofax VRS をインストールするには、管理者権限のある [コマンド プロンプト] から以下のコマンドのいずれかを実行します。

注 コマンド構文内でのバックスラッシュおよび二重引用符の使用方法は、Setup.exe と Msiexec.exe では若干異なります。

- スタンドアロン 64 ビット:


```
Setup.exe /s /v" INSTALLDIR=\"C:\Program Files (x86)\<パス>\ImgCtls\" /qn"
```
- スタンドアロン 32 ビット:


```
Setup.exe /s /v" INSTALLDIR=\"C:\Program Files\<パス>\ImgCtls\" /qn"
```
- サーバー 64 ビット:


```
Setup.exe /s /v" INSTALL_TYPE=\"Server\" INSTALLDIR=\"C:\Program Files (x86)\<パス>\ImgCtls\" /qn"
```
- サーバー 32 ビット:


```
Setup.exe /s /v" INSTALL_TYPE=\"Server\" INSTALLDIR=\"C:\Program Files \<パス>\ImgCtls\" /qn"
```
- クライアント 64 ビット:


```
Msiexec.exe /i "<PATH_TO_VRS_MSI>\Kofax VRS.msi" INSTALLDIR="C:\Program Files (x86)\<パス>\ImgCtls" /qn
```
- クライアント 32 ビット:


```
Msiexec.exe /i "<PATH_TO_VRS_MSI>\Kofax VRS.msi" INSTALLDIR="C:\Program Files\<パス>\ImgCtls" /qn
```

VRS のサイレント アンインストール

スタンドアロン コンピュータ、サーバー コンピュータ、またはクライアント コンピュータから VRS のサイレント アンインストールを行うには、次の手順を使用します。

1. 管理者権限のある [コマンド プロンプト] を開き、Kofax VRS インストール フォルダに移動します。
2. 次のコマンドを実行します。

```
Msiexec.exe /x{8C3B9971-87E9-4D91-AF83-54F518590387} /qn
```

マルチコアおよび EBC 処理機能にアクセスする

Kofax VRS ライセンスがマルチコアまたは Enhanced Bar Code (EBC) 機能をサポートしていても、スループットが低いスキャナでは使用できません。このような場合、次の手順で KofaxReg.xml ファイルを

編集して、この機能にアクセスすることができます。この手順は、クライアント/サーバーのインストールにのみ使用してください。

1. 次のようなパスで、KofaxReg.xml の場所を特定します。

Documents and Settings\All Users\Application Data\Kofax\Vrs\KofaxReg.xml

2. 特定したファイルをエディタで開き、次の文字列を見つけます:

```
<ELEVATELICENSE Value="None" />
```

3. 次のように、"None" を "Workgroup" または "Production" に書き換えます:

```
<ELEVATELICENSE Value="Production"/>
```

4. ファイルを保存します。

Kofax VRS を登録する

Kofax VRS Basic または Professional ライセンスを使用している場合に、Kofax VRS を初めて起動すると、連絡先情報を入力して製品登録を完了するように求められます。画面上の指示に従い、オンラインまたは電話で製品登録を行います。

登録後は、新製品、サポートされるスキャナ、および Kofax VRS への更新に関する通知を受け取ることができます。

Kofax VRS Elite にアップグレードする

Kofax VRS Basic または Professional ライセンスは、特定の機能セットをサポートしています。Kofax VRS Elite ライセンスにアップグレードすれば、拡張機能セットを使用できるようになります (Kofax VRS ライセンス別機能セット表を参照)。

Kofax VRS Basic および Professional ライセンスでは、ライセンスのアップグレードを決定する前に、Kofax VRS Elite の機能をプレビューすることができます。機能をプレビューするには、Kofax VRS のプログラム フォルダまたは Administration Console から Kofax VRS Elite のデモ を選択します。Kofax VRS Elite の機能をプレビューすると、スキャンした画像にデジタル スタンプが適用されます。Kofax VRS Elite にアップグレードするかデモ モードをオフにすると、スタンプは適用されなくなります。デモ モードをオフにした場合、Kofax VRS Elite の機能は使用できなくなります。Kofax VRS Elite ライセンスを入手したら、Administration Console の [ライセンス] パネルを使用して、機能の永続的なアクティベーションを行います。詳細は、オンライン ヘルプを参照してください。

Kofax VRS ライセンス別機能セット

機能	Kofax VRS Elite	Kofax VRS Professional	Kofax VRS Basic
クロップ	X	X	X
傾き補正	X	X	X
エッジ クリーンアップ	X	X	X
自動明るさ調整	X	X	X
ガンマ補正	X	X	X

機能	Kofax VRS Elite	Kofax VRS Professional	Kofax VRS Basic
ライン フィルタ	X	X	X
斑点除去	X	X	X
わかりやすいユーザー インターフェイス	X	X	X
AIPE ライセンス	X	X	X
標準バーコード ¹	X	X	X
シンプルなインストーラー	X	X	X
Desktop Productivity	X	X	X
オート オリエンテーション	X	X	
自動コントラスト / インテリジェント クリーンアップ	X	X	
パンチ穴補修	X	X	
自動カラー検出	X	X	
カラー抑制	X	X	
カラー スムージング	X	X	
空白ページの検出	X	X	
高度なバーコード スキャン	X	X	
マルチコア - CGA	X	X	
エッジ補修	X		
両面結合	X		
インテリジェント ハーフトーン	X		
自動プロファイル選択機能	X		
マルチコア - プロダクション スキャナ	X		
デバイス ヘルス - ローカル	X		
デバイス ヘルス - SNMP サポート ²	X		
追加機能			
共有プロファイル	VRS ライセンス サーバーが必要		
共有ライセンス	VRS ライセンス サーバーが必要		
MSI パッケージ	VRS ライセンス サーバーが必要		
Kofax Monitor	VRS ライセンス サーバーが必要		

¹ 標準的な 1 次元バーコードです (Code 39、Code 128、Code 93、EAN、Postnet、Interleaved 2 of 5、Linear 2 of 5、UPC-A、UPC-E)

² Kofax VRS Elite のデモでは使用できません

管理者アクセス

Kofax VRS ユーザーは、デフォルトで、製品の全機能へのフル アクセスが許可されています。Kofax VRS 管理者にのみフル アクセス権限を付与する場合は、XML ファイルを使用し、ユーザー固有の権限に基づいてアクセスを管理します。これに使用するファイルは VRSAccess.xml です。以下の <Common Application Data> フォルダ内にあります。

ProgramData\Kofax\Vrs

次に、VRSAccess.xml の一部を示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes"?>
<VRSAccess>
  <DisablePublish>0</DisablePublish>
  <DisableAllAdmin>0</DisableAllAdmin>
</VRSAccess>
```

デフォルトでは、VRSAccess.xml 要素はゼロ (0) に設定されており、Kofax VRS 機能へのフル アクセスが許可されています。

次の表に、<Common Application Data> 内の VRSAccess.xml の要素を更新して、Kofax VRS の管理者機能へのアクセスを制限する方法を示します。

VRSAccess.xml の要素

要素の設定	ログイン ユーザーがアクセスできなくなる Kofax VRS の機能
DisableAllAdmin = 1 DisablePublish の値が無視されます	Kofax VRS Administration Console の ユーザー設定、スキャンプロファイル、自動プロファイル選択機能、およびライセンスの各パネル Kofax VRS Interactive Viewer の プロファイル ツールバー コントロール
DisablePublish = 1 DisableAllAdmin の値が無視されます	Kofax VRS Administration Console の スキャン プロファイル パネルの [発行] 機能

同じマシンで Kofax VRS への複数のアクセス レベルを設定するには、別の設定を使用して VRSAccess.xml のオーバーライド バージョンを作成して、次の場所の <User Application Data> フォルダ内に配置します。

ユーザー\<現在のユーザー>\AppData\Roaming

Kofax VRS ユーザーがマシンにログインすると、オーバーライド ファイルがないか、最初に必ず <ユーザーのアプリケーション データ> がチェックされます。このファイルが存在する場合は、たとえ空であっても使用されます (この場合、値がゼロに設定されたデフォルトの VRSAccess.xml ファイルと効果は同じです)。ファイルが存在しない場合は、<Common Application Data> 内の VRSAccess.xml ファイルが使用されます。

Kofax VRS 管理者にとってオーバーライド ファイルは便利なファイルです。管理者は、アクセス制限なしに任意の Kofax VRS ワークステーションにログインして、スキャン プロファイル、自動プロファイル選択機能 学習データ、製品ライセンスに関連する設定を管理することができます。

同じマシンまたは複数のマシンで Kofax VRS ユーザーに異なるアクセス レベルを割り当てるには、VRSAccess.xml を使用します。たとえば、スキャン オペレーターが管理者機能を使用することを制限し、同時に、スキャン オペレーターのスーパーバイザー アクセスを 発行 以外のすべての管理者機能に割り当てることができます。また、Kofax VRS のインストールの管理を担当するユーザーにフル アクセス権限を割り当てることができます。アクセス レベルは、各ユーザーの Windows ログインに基づきます。

別のオプションとしては、SCCM や SMS などの管理ソフトウェアを使用して、VRSAccess.xml ファイルを Kofax VRS クライアント ワークステーションに配布するという方法もあります。

注 権限のないユーザーがファイルを変更するのを防ぐには、VRSAccess.xml に読み取り専用権限を適用します。

Kofax VRS を削除する

このセクションでは、マシンから Kofax VRS を削除する方法について説明します。Kofax VRS を削除すると、マシンでのライセンスのアクティベーションは自動的に解除されます。インターネットに接続されている場合は、Kofax License Server でもライセンスのアクティベーションが解除されます。別のマシンでライセンスを使用するには、その前に Kofax License Server でアクティベーションを解除しておく必要があります。

- Kofax VRS のサイレント インストールを実行した場合は、[VRS のサイレント アンインストール](#) を参照して、スタンドアロン コンピュータ、サーバー コンピュータ、またはクライアント コンピュータから製品を削除してください。
- SCCM や SMS などの管理ソフトウェアを使用してクライアント ワークステーションに Kofax VRS をインストールした場合は、その同じソフトウェアを使用して Kofax VRS を削除してください。

1. コントロール パネル を開いて、プログラムと機能 をダブルクリックします。
2. 現在インストールされているプログラムのリストから **Kofax VRS** を選択します。
3. アンインストール をクリックします。
4. 削除を確認するように求められたら、はい をクリックします。
5. カスタム スキャン プロファイルまたは [自動プロファイル選択機能] の学習データを保持するように求められた場合は、はいをクリックすると、将来の Kofax VRS のインストールでの使用のために保持できます。[はい] をクリックしない場合は削除されます。
6. プロセスが完了したというメッセージが表示されたら、[完了] をクリックしてインストーラを終了します。